

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139

おたよりがタマリ

最近、防犯パトロールの車をよく見かけます。いつも防犯について呼びかけていただきありがとうございます。

今年になって子ども被害が多く、5月には昨年1年間の件数に並ぶ22件となりました。こうした理由から、役場でも防犯広報パトロールを5月23日から実施し、現在も随時行っています。また、小中学校やボランティアグループによる防犯活動も行われています。

夏休みに入り、行楽や旅行で家を留守にする機会も多くなります。家を留守にするときは、戸締りを忘れず、旅先でも犯罪にあわないよう十分に注意し、楽しい夏を過ごしましょう。(総務課安全対策室)



「老人クラブ」

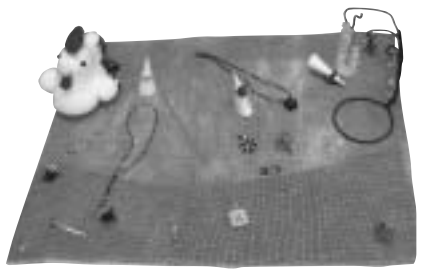
老人クラブでは、ゲートボールを行っています。小中学生など若い世代のかたもご自由に参加できます。また、土日などの休日のみの参加も歓迎します。ぜひ一度参加してみてください。日時、場所など詳しいことは下記の代表者にお問合せください。 会長 本多省吾 ☎62-3986

区名	名前	電話番号	区名	名前	電話番号
長嶺	中村 緑之	62 - 2895	久保田	小野 富雄	62 - 3309
坂崎	高橋 繁次	62 - 4003	大草	森田 孝義	62 - 7795
高力	榊原 光義	62 - 4491	鷲田	赤川 悟	62 - 2525
新田	本多 律二	62 - 4101	岩堀	酒井 晃	62 - 3652
横落	今村 政則	62 - 1410	荻	加藤 功	62 - 0553
芦谷	近藤 史郎	62 - 1177	幸田	鈴木 茂夫	62 - 0178
里	近藤 保	62 - 2164	市場	小野良幸夫	62 - 3740
海谷	村越 久夫	62 - 1288	逆川	稲吉 信夫	62 - 6389
野場	永井 義則	62 - 0305	永野	都築 正一	62 - 6780
須美	加藤元次郎	62 - 2676	六栗	吉見 照夫	62 - 0651
六栗団地	乳井 清忠	62 - 7096	上六栗	夏目 正男	62 - 0650
桐山	長谷 秀雄	62 - 0033			

* 桜坂は会長(本多省吾さん)へお問合せください。
この欄に掲載希望のサークルは、はがきにサークル名と連絡先、活動内容を簡潔に書いて企画情報課へ。おってご連絡します。

サークル紹介

この指
とーまれ
89



いっしき みよこ
一色 美代子さん

みんなの作品展!



【陶芸】
ひろの くぞう
広野 九三さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

「そごじやない」

60年前のあの夏、15歳の少女だったおばあちゃんも、軍需工場で働いていたそうです……
「はや、えらいことだったけど、沖繩やなんそごじやない、ひつどいもんだん」
「もちろん、大変だったけれど、沖繩などはそれどころではない、悲惨なもの」
「……意味です。」
「そごじやない」の「そご」って「ど」?そんな疑問から調べてみると、「この」「ど」は「何処」ではなく「所」であり、「そごじやない」とは「其処所」つまり「そのところ」に、「そこ」というよりもその場所をはっきり指し示す言葉でした。これに打消しの語が伴って、そんな程度ではない、「それどころではない」、「それを、この地方では「そこごじやない」といいます。なお、相手にほめられ、謙遜して応えたものが、過去に登場していますので、そこんと「ヨロシク」!

(文・じんぎ)



青春トークリレー

第149走者

いなよし つとむ
稲吉 勉さん

荻区在住 23歳 自営業
身長 170cm O型
好きなタイプ 明るく楽しい人
好きな芸能人 YUKI

はじめまして。僕は現在家業のいちごを継いで、農家2年目です。大学でもいちごの研究を行っていましたが、実際の作業では、教科書どおりに上手くはいかず、毎日が勉強です。息抜きとして、趣味のスポーツにも励んでいます。テニスにバレー、ソフトボールといろいろやっていますが、特にソフトボール歴は17年と長く、ピッチャーという大役を任されています。また、今年から幸田町消防団に入団しました。今年はまだ火災は起きていませんが、皆さんもこれからの時期、花火の後始末には十分注意してくださいね。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



「おらーの、こないだの大会で、ホールインワン2へんも出いちゃったわ」
「ほや、すごいー。まくれが2へんちや」
「実力だわ。一緒おつた女性陣がすごいちってヒャーヒャー騒いでの、えらいうれしかったわ」
「きーない声援のキャー」

奥さんに感謝の巻

生きがい
ヤンターだより
「某月某日」

「おれなん、やつかましくて、目まいがせるだけどが、我慢しとるだわ」
「おしゃえらいのーえ。畑があやいーだかの。ついでん畑行きやー、おつかーの顔見んですむし」
「ほいでも、今のあんたが

「うちなん、ギャーギャー小言ばつかわだわ。うるさくていかなわ」
「おらー、小言が始まや、静かーに、おらんよーなっちゃうだわ。ほいでも、携帯電話でじきん捕まっちゃうがの」
「おれなん、やつかましくて、目まいがせるだけどが、我慢しとるだわ」
「おしゃえらいのーえ。畑があやいーだかの。ついでん畑行きやー、おつかーの顔見んですむし」
「ほいでも、今のあんたが



「まー、お互い嫁さんにやー頭が上がらんちゅーことだの」
あるは、やーともねー連れ添った嫁さんのお陰じゃねーかん？」
「まー、お互い嫁さんにやー頭が上がらんちゅーことだの」

今回、フォトニュースでは中学生や小学生を中心とした子どもたちの写真を多く掲載しました。僕が写真を撮りに行くとき、元気にあいさつしてくれる子どもたち。時には「お兄さん、また会ったね」と声をかけられることもあります。そんな子どもたちが一生懸命何かに取り組んでいる姿を見ると、ついついシャッターを押す回数が増えちゃうものです。(D)

今月の特集は「食と農業」です。私たちの食生活は、見かけは非常に豊かになりました。マリ・アントワネットが口走ったと言われる「あらパンがないなら、お菓子を食べればよいのに」ということは真顔で言える世代も出現しました。
今回とりあげた農家のかたを始めとする生産者の皆さんは農業の将来に対して危機感をもっています。命を育む食べ物の生産現場の心意気が少しでも皆さんに伝わり、興味を持っていただけたらと強く思います。(N)

ちよと
編集者の
ひらりと